

平成6年度 和歌山県文化功労賞

にし かわ ちづこ
西 川 千鶴子 (芸名 藤間勘操)

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：大正10年

◎業績及び経歴

藤間章郎師に師事し、6歳の頃より日本舞踊をはじめ。昭和12年長唄、常盤津、清元と鳴物の稽古に入り、昭和14年藤間麻千里で名取免許を取得した。藤間章郎師亡き後、戦前は東京の藤間寿枝師に師事、戦後は藤間勘寿郎に師事し、現在に至る。

昭和18年には藤間勘操と改名し、昭和21年から藤千栄会を主宰している。

大阪歌舞伎座、毎日ホール、サンケイホール、国立文楽劇場に出演し、県内では、日本舞踊フェスティバルにおいて第1回から現在まで指導されている。また、県主催の和歌山名流会においても、第1回より現在まで連続出演されている。

昭和61年には、師籍50周年を記念した祝賀舞踊会を、平成3年には「伝統を守る藤間勘操の会」を催された。

これら数年ごとに開催される舞踊会では、収益の一部を社会福祉に寄付されている。

師匠として、厳しさの中にも「心」を伝える指導には、稽古を受ける者を身も心も舞踊の世界に引き込んでいくとの定評があり、舞踊一筋に生き、流派を越えて幾多の名取師匠を生み、育成してこられた功績は大きい。

また本県の舞踊会の先達として、芸術文化の普及・振興に果たされた役割は多大である。